

「日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)」は、河川・流域再生に関わる事例・経験・活動・人材等を交換・共有することを通じ、各地域に相応しい水辺再生の技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目的として、2006年11月に(財)リバーフロント整備センターが設立した団体です。また、「アジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN)」の日本窓口として、日本の優れた知見をアジアに向け発信し、同時に、アジアの素晴らしい取組みを日本国内に還元する役割も担います。

目次	Pages
➤ JRRN 活動報告.....	1
➤ 会員寄稿記事.....	4
➤ JRRN 会員・ARRN 関係者からのお知らせ.....	7
➤ 会議・イベント案内.....	8
➤ 冊子・ビデオ等の紹介.....	8
➤ 会員募集中.....	9

## 巻頭書記

春を感じられるこの季節。水辺に集まる人も多くなりました。会員の皆さんの周りでは桜は咲いていますか？いつもの道を少し遠回りして、桜を眺めたくくなります。JRRN では、この季節にしか見られない「桜のある水辺風景」の写真を募集しています。

本号では、「ARRN 年次報告 2009」が完成し、ARRN ホームページがリニューアルしましたので報

告いたします。

また、ARRN 主催「第7回水辺・流域再生にかかわる国際フォーラム」(2010年9月韓国開催)のお知らせ、会員からの2つの記事を掲載しています。

引き続き、JRRN 会員皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

## JRRN 活動報告(1)

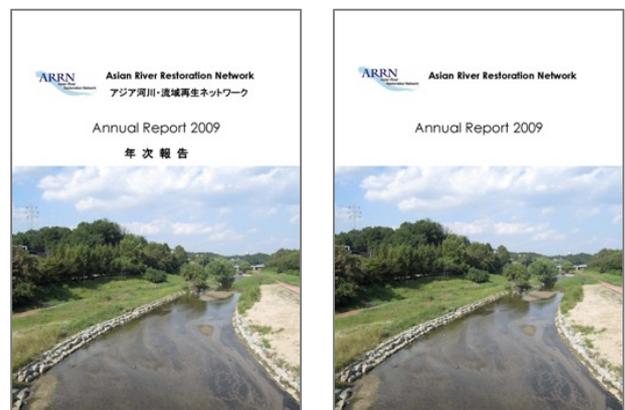
### 「ARRN 年次報告 2009」(日本語版・英語版)が完成しました

ARRN (アジア河川・流域再生ネットワーク) の設立3年目(2009年)の活動報告を取りまとめた

「ARRN年次報告2009」(日本語版・英語版)が完成し、JRRNホームページ上に公開致しました。

<http://www.a-rr.net/jp/info/letter/annualreport/>

本報告書では、ARRNを構成する日中韓の各国内ネットワークの年次報告も掲載され、「JRRN年次報告2009」も兼ねております。年次報告を通じ、JRRNの1年間の歩みをご覧頂ければ幸いです。



ARRN年次報告2009 (日本語版・英語版)

(JRRN 事務局 和田彰)

## JRRN 活動報告(2)

### ARRN 主催「第7回水辺・流域再生にかかわる国際フォーラム」(9月・韓国)のご案内

今年度で7回目となる「水辺・流域再生にかかわる国際フォーラム」は、2010年9月に韓国で開かれる International Symposium on Ecohydraulics(国際生態水工学会)の特別セッション内で開催します。

プログラムはまだ確定しておりませんが、ECRR(ヨーロッパ河川再生センター)のFokkens会長を基調講演にお迎えし、全6名の講演者で構成される予定です。

ARRN内のネットワーク強化とともに多くの方にこの国際フォーラムに参加いただき、ARRNを知っていただく機会となることを期待しています。

プログラム等の詳細が確定しましたら、改めてご報告いたします。

#### 【予定講演者】

- 講演者1 : Mr. Bart Fokkens (ECRR 会長)  
タイトル「10 years experience of the European Centre for River Restoration」
- 講演者2 : Huang Jinhui  
タイトル「Study on Environmental Flows and Eco-restoration Practice in Yellow River Delta Wetland」
- 講演者3 : 韓国の講演者
- 講演者4 : 傳田 正利 ((独) 土木研究所)  
タイトル : Improvement of Individual-based models by using GIS and a Wild Animal Auto-tracking System
- 講演者5 : 日中韓以外のアジアの講演者
- 講演者6 : 日中韓以外のアジアの講演者

(JRRN 事務局 沼田彩友美)

## JRRN 活動報告(3)

### 『桜のある水辺風景 2010』 写真募集のご案内

桜の咲くこの季節にだけ見られる水辺の風景があります。桜色に染まる水面や人々が楽しむ姿。会員のみなさまの知っている風景はどんな風景でしょうか。

JRRN では、「桜のある水辺風景」を通して、水辺の美しさや人々との関わりについて考える機会をつくることを目的に、会員のみなさまから「桜のある水辺写真」を募集しています。

応募いただいた写真は、みなさまにご紹介するとともに、JRRN の今後の活動に活用させて頂きたいと考えております。

北海道から沖縄まで、日本の魅力、また水辺の魅力を再認識させてくれる様な、素敵な「桜のある水辺写真」をお待ちしております。



#### 応募について

- ◇ 応募内容 : 「桜のある水辺写真」(2010年に撮影された写真)
- ◇ 応募期間 : 平成22年3月15日(月) ~ 平成22年5月31日(月)
- ◇ 応募方法 : 「応募シート」に必要事項を記載し、送付してください。
- ◇ 応募した写真は : 応募期間終了後に、JRRN ニュースター上にてご紹介させていただきます。
- ◇ 応募先等の詳細はこちら : <http://www.a-rr.net/jp/info/letter/information/1933.html>

(JRRN 事務局 沼田彩友美)

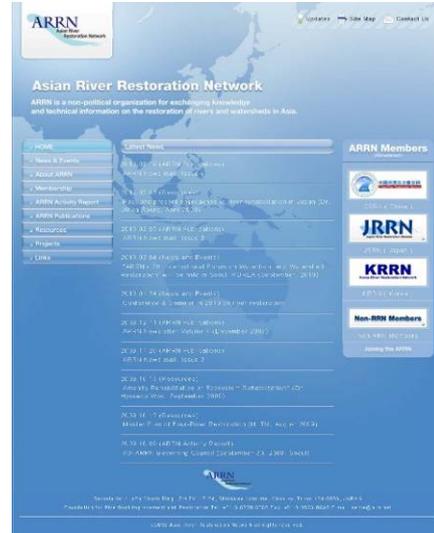
# JRRN 活動報告(4)

## ARRN ホームページがリニューアルしました

ARRN（アジア河川・流域再生ネットワーク）のホームページ（英語版）を3年ぶりにリニューアルしましたのでご案内させていただきます。

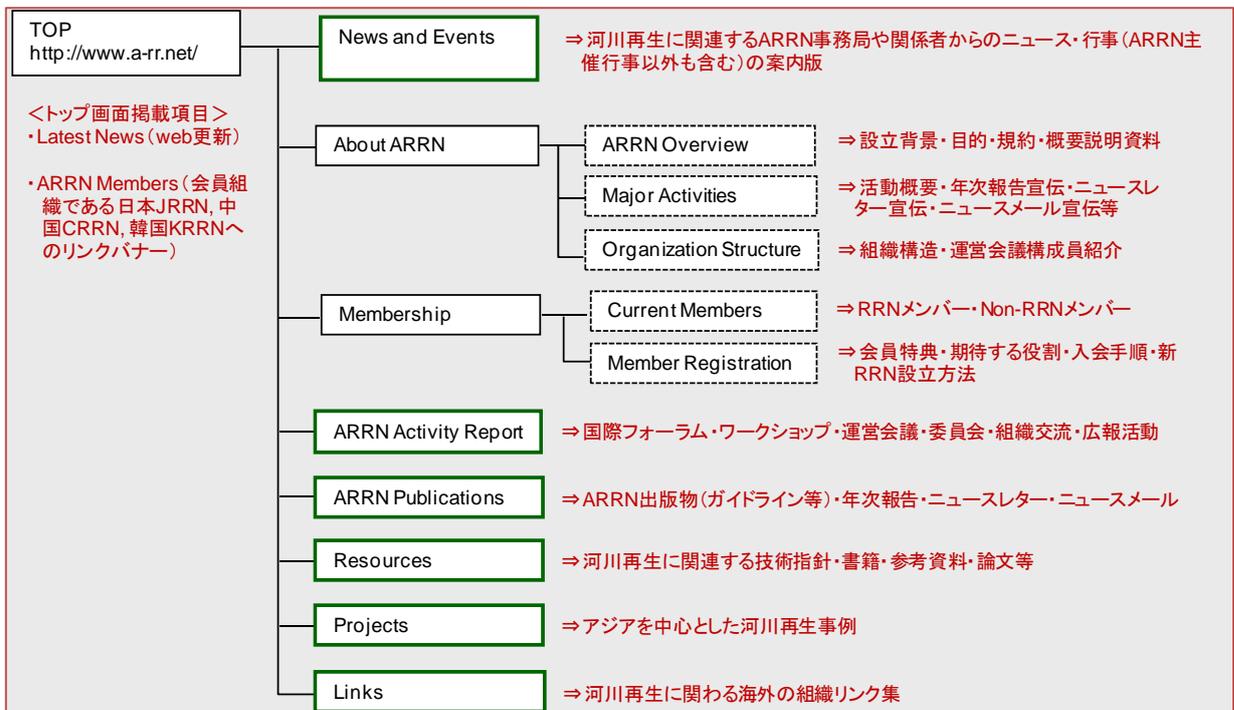
アジア地域における河川・水辺の再生に関する情報・事例・技術・経験・人材等を交換・共有する仕組みを構築することを目的の一つとして2006年11月にARRNが設立されました。ARRN設立後から現在までJRRNがARRN事務局を担い、毎年開催されるARRN情報委員会及び運営会議を通じて日中韓を中心とする関係者との協議を重ねながら、JRRN事務局が中心となりARRNホームページの再構築を進めて参りました。

基本的に、各国内情報は各RRNのホームページ内に掲載することをルールとし、アジアの共通情報を今回リニューアルしたARRNホームページ上に掲載することにしております。（例えば、日本国内の関連情報はJRRNホームページ内で紹介）



<http://www.a-rr.net/>

JRRN事務局では、皆様が取組む河川・流域再生活動に貢献できる情報媒体を目指し、引き続きJRRN及びARRNホームページの質の向上を図っていきたくと思います。



新 ARRN ホームページのサイト構造

(JRRN 事務局 和田彰)

# 会員寄稿記事(1)

## 韓国四大河川再生プロジェクトと漢江の利用状況を見聞してきました

寄稿者：滝 泰臣（JRRN 会員）

2月23日から4日間に渡り、韓国の四大河川再生プロジェクトの内容とソウル特別市管理区間の漢江（ハンガン）について見聞してきました。四大河川再生プロジェクトは韓国の李明博（イ・ミョンバク）大統領の目玉事業で任期の2012年までに四大河川（漢江・洛東江・栄山江・錦江）でそれぞれ洪水防御や水質改善・水資源確保・生態復元などの目的で一気に22兆ウォン（約1.8兆円）の河川整備事業を行うという、日本では考えられないほどのスピードで計画された事業です。堰（小型のダム）だけでも十数箇所あり、堤防強化の延長は何と600kmという非常に大規模なプロジェクトです。工事発注も大型工事はターンキー方式\*でほぼ発注されておりました。

※ターンキー方式：請負事業者が設計、施工、装備、試運転まで全てを一括して行い、発注者が直ちに使用することができる状態で施設を引き渡す方式。

韓国河川・流域再生ネットワーク（KRRN）の事務局でもある韓国建設技術研究院（KICT）の安上席研究員（博士）を訪問し、プロジェクトの内容や各河川の特性や課題、さらには歴史的背景について教えて頂きました。



写真1 KICTでの概要説明受講



写真2 弊社の工法説明

我々からは弊社の河川整備の各工法の紹介をさせていただきました。韓国では河川護岸工法の採用にあたり護岸の力学的な設計法がなく実績と経験により採用されているようでした。現在安定性については実験中でガイドラインの策定を進めておられました。安氏は次の段階で早急に河川環境や生態系についての指針をまとめられる予定とのことでした。

韓国では建設会社にも訪問し、韓国のコンクリート製品会社の河川護岸用製品の説明を受けましたが、弊社の製品を含め、日本で見たことのある製品がすでに多数あり、見事に活用？されておりました。ある会社のホームページでは当社の実績写真がそのまま使用されているケースなどもありました。（笑）すでにWEBで世界は一つになっていることを実感させられました。

翌日ソウル特別市管轄の漢江植生回復の試験施工の現場を見学しました。漢江は1988年開催のソウルオリンピックの時期に合わせて、高速道路網や河岸整備を一気に進められたそうです。

その際低水護岸は河床に階段状のブロックを設置し、水際の遊歩道を設け、その上を張ブロックで整備しています。(写真3)

現在ソウル特別市では漢江ルネッサンス計画という、都市部の漢江を利用面まで含めて整備中で大規模な水上レストランや護岸の植生回復実験など、積極的に取り組まれておりました。(写真4)

ソウル市内の漢江を見学してまず驚いたのは、数10kmに渡り堤防上が6車線から10車線の高速道路(無料)になっており、スーパー堤防のような状況でした。(当然法律の違いもあるのですが)またその高速道路が常に渋滞しているという、なんとも

活気のある大都会でした。韓国経済も元気が無いと聞いておりましたが、はるかに日本より活気を感じました。(写真5)

都市部の高水敷にはコンビニやカフェテリアが設置され、水辺には水上レストランが浮び、自転車道にはおしゃれなマウンテンバイクで駆け抜けるソウル市民の姿。日本の多摩川や荒川も見習うべき利用方法がある気がしました。(写真6)

最後になりますが、今回の韓国見学は韓国建設技術研究院の安博士はじめJRRN事務局の皆様方のご支援で実施することができました。末筆ながら以上の皆様方に厚くお礼申し上げます。



写真3 漢江低水護岸及び利用状況  
(リバーサイドマンションが林立)



写真5 江南地区は一般道も片側5車線



写真4 植生回復実験状況  
(冬のため植生はまだですが)



写真6 高水敷のカフェテリア(移動式?)

## 会員寄稿記事(2)

### 水辺からのメッセージ No.11

国土文化研究所 主任研究員 岡村幸二 (JRRN 会員)

#### 川面を彩る春景色：南伊豆の里山に囲まれて暖かい川風がそよぎます



撮影：2008年4月（静岡県松崎町那賀川）

#### ◆桜餅の桜の葉の生産は松崎町の隠れた特産

町の中心を流れる那賀川には、3月下旬には春を告げる菜の花や桜が咲き誇ります。周囲の里山には、桜餅を包む桜の葉に使われる大島桜が植えられています。

※国土文化研究所は、株式会社建設技術研究所のシンクタンク組織です。

#### ■ JRRN 会員皆様からの寄稿記事を募集しています！

旅先で見かけた水辺の風景や思い、水辺再生に関わる様々な活動報告、また河川環境再生に役立つ技術等、JRRN 団体・個人会員皆様からの寄稿記事をお待ちしています。(JRRN 事務局)

# JRRN 会員・ARRN 関係者からのお知らせ

## 【JRRN 会員からの提供情報】

### Multiparty Pacts in Northwest Set the Stage For Largest Dam Removal in U.S. History

02/04/2010

By Dan Riedler, Reuters

The largest dam removal and river restoration project in U.S. history moved a step closer to reality last month as the U.S. Dept. of the Interior, Oregon, California, PacifiCorp and about 40 other groups signed agreements that will set into motion the \$200-million removal of four dams on the Klamath River and the \$1-billion restoration of the Klamath Basin.



Photo: PacifiCorp  
The 20-MW concrete dam Copco 1 has lost its efficiency since it was commissioned in 1915.

The dams, owned by PacifiCorp, a subsidiary of Warren Buffett's Mid-American Energy Holdings Inc., Des Moines, Iowa, would continue to produce power until removal begins. The Federal Energy Regulatory Commission estimates their dependable capacity at 43 megawatts.

Sedimentation over time has reduced the concrete and earthen structures' efficiency. Built between 1915 and 1962, they are operating at less than a third of their designed rated capacity. J.C. Boyle (90 MW), Copco 1 (20 MW), Copco 2 (27 MW) and Iron Gate (18 MW).

The Dept. of the Interior must determine by March 31, 2012, whether removing the dams is in the public interest and if the process would help restore salmon in the Klamath Basin. Work could occur no earlier than 2020, though pre-removal work could start earlier.

The Klamath Basin Restoration Agreement and the Klamath Hydroelectric Settlement Agreement spell out

JRRN 個人会員より、アメリカにおけるダム撤去に関する報道記事の続編を御提供頂きました。この英文記事の日本語仮訳資料もご提供頂きましたので、以下よりダウンロード可能です。(言語：日本語)

→<http://www.a-rr.net/jp/exchange/docs/04-0029.pdf>

また、本記事を扱ったオリジナルの英文ホームページは以下よりアクセス可能です。(言語：英語)

[http://enr.ecnext.com/coms2/article\\_inwd100224KlamathDamRe](http://enr.ecnext.com/coms2/article_inwd100224KlamathDamRe)

## 【JRRN 会員からの提供情報】

JRRN 団体会員である社団法人日本河川協会から「河川文化を語る会」のイベント案内です。

### 【第 143 回】

- ◆テーマ：「水・物質循環から見た自然と共生する流域づくり～沖縄石垣島を例として」
- ◆講師：池田 駿介氏（東京工業大学 名誉教授）
- ◆日時：平成 22 年 4 月 26 日（月）18:00～20:00
- ◆場所：厚生会館（全国土木建築健保）

### 【第 144 回】

- ◆テーマ：「ラムサール条約湿地に登録された「秋吉台の地下水系」～地下川の自然を探る～」
- ◆講師：庫本正氏（秋吉台科学博物館 名誉館長）
- ◆日時：平成 22 年 5 月 29 日（土）14:10～16:10
- ◆場所：山口県旧国議会議事堂

### 【第 145 回】

- ◆テーマ：「歴史事象としての河内の洪水と大和川の付け替え～洪水対策 300 年事後評価」
- ◆講師：佐藤 洋一郎氏（総合地球環境学研究所副所長）
- ◆日時：平成 22 年 6 月 21 日（月）18:00～20:00
- ◆場所：厚生会館（全国土木建築健保）

○申込／問合わせ：(社) 日本河川協会

URL：<http://www.japanriver.or.jp/>

## 【JRRN 会員からの提供情報】

JRRN 団体会員である (株) ディーリンク様より水質浄化に関する製品情報を御提供頂きました。 ※詳細は以下参照

<http://www.a-rr.net/jp/exchange/product/1919.html>



## 【JRRN 会員からの提供情報】

JRRN 会員より水問題の朗読劇 WEB 版のご案内です。



※詳細は以下参照

<http://www.a-rr.net/jp/exchange/news/2086.html>

## 【海外からの提供情報】

### ■INBO-ECRR 企画「河川再生入門編の E ラーニング講習(無料)」

ECRR (ヨーロッパ河川再生センター) の理事を務め、CIRF (イタリア河川再生センター) に所属する Bruna Gumiero 氏より、INBO (国際流域機構) と ECRR 共催の E ラーニング講習プログラム (無料) のご案内を頂きました。

※詳細は以下参照 (言語：英語)

[http://www.a-rr.net/jp/exchange/docs/INBO-Academy\\_ECRR2010.pdf](http://www.a-rr.net/jp/exchange/docs/INBO-Academy_ECRR2010.pdf)

### The typical "Classroom"



# 会議・イベント案内 (2010年4月以降)

## (ARRN・JRRN 主催・共催の会議・イベント)

### ■第5回 JRRN 河川環境ミニ講座 (予定)

- 開催時期：平成22年5月中旬頃
- 開催場所：東京都内
- 講師：海外における河川・流域再生に携わる実務者 (予定)  
※詳細が決まりましたら JRRN ホームページ上でご案内致します。

### ■第7回 ARRN 水辺・流域再生に関わる国際フォーラム

- 開催時期：平成22年9月12日～16日の間のいずれか1日
- 開催場所：韓国・ソウル市 (第8回生態水工学国際シンポジウム ISE2010 内の特別セッションとして開催)
- 講師：ECRR (ヨーロッパ河川再生センター) 会長、日中韓より各1名、その他アジアより2名 (予定)
- URL: <http://ise-2010.org/>

## (その他の河川再生・河川環境に関する主なイベント)

### ■第99回定例講演会「河川環境行政の変遷 (近世から近代そしてポスト近代へ)」

- 日時：2010年4月19日(月) 17:00～18:30
- 会場：いであ株式会社 GE カレッジホール
- 主催：特定非営利活動法人 地球環境カレッジ  
<http://www.a-rr.net/jp/event/03/1922.html>

### ■琵琶湖外来魚駆除大会

- 日時：2010年4月25日(日) 10:00～15:00
- 会場：滋賀県草津市志那中湖岸緑地
- 主催：琵琶湖を戻す会  
<http://www.a-rr.net/jp/event/02/2076.html>

### ■第143回 河川文化を語る会『水・物質循環から見た自然と共生する流域づくり～沖縄石垣島を例として』

- 日時：2010年4月26日(月) 18:00～20:00
- 会場：厚生会館 (全国土木建築健保)
- 主催：社団法人日本河川協会  
<http://www.a-rr.net/jp/event/03/1899.html>

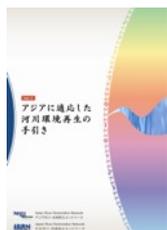
### ■第144回 河川文化を語る会『ラムサール条約湿地に登録された「秋吉台の地下水系」～地下川の自然を探る～』

- 日時：2010年5月29日(土) 14:10～16:10
- 会場：山口県旧県議会議事堂 1F 「夢交流ホール」
- 主催：社団法人日本河川協会  
<http://www.a-rr.net/jp/event/03/1921.html>

## 冊子・ビデオ等の紹介

### ■ アジアに適応した河川環境再生の手引き ver.1 (2009.3 発刊)

- ・発行：アジア河川・流域再生ネットワーク (ARRN)
- ・価格：無料

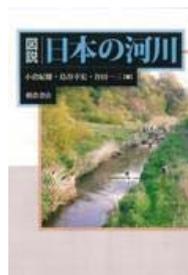


ARRN が今後作成を目指す「アジアにおける河川再生技術指針」の入門編として、非専門家の方々にも河川再生の意義やアプローチを理解して頂くことを目的に、写真や図を主体に平易な解説文を添えて作成致したものです。

本手引きをご希望される方は、「(財)リバーフロント整備センター企画グループ」までご連絡ください。送料のみご負担いただいた上で、無料で提供致します。  
電話：03-6228-3860 / Fax：03-3523-0640

### ■ 図説 日本の河川 (2010.2 発刊)

- ・編者：小倉紀雄・島谷幸宏・谷田一三
- ・出版社：朝倉書店
- ・発行年月：2010年1月
- ・価格：¥4,515円(税込)
- ・ISBN：978-4254180336



本書では、総説として日本の川の特徴に触れた上で、日本全国の53河川を取り上げ、川の魅力や豊かさ、自然、文化、特徴を美しい写真とともに紹介しています。

なお、本書執筆には JRRN 事務局長や複数の JRRN 会員の方々も関わっています。

# 会員募集中

## ■ JRRN の登録資格（団体・個人）

JRRN への登録は、団体・個人を問わず**無料**です。  
市民団体、行政機関、民間企業、研究者、個人等、所属団体や機関を問わず、河川環境の整備・改善に携わるすべての方々のご参加を歓迎いたします。

## ■ 会員の特典

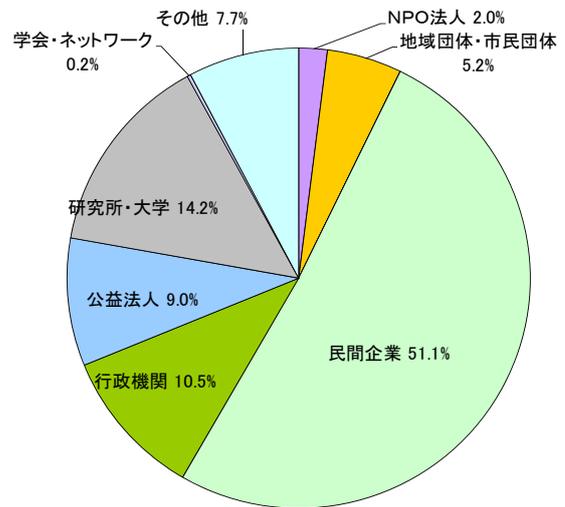
会員登録をされた方々へ、様々な「会員の特典」をご用意しています。

- (1) 国内外の河川環境に関するニュースを集約した「JRRN ニュースメール」が週に1回～2回メール配信されます。
- (2) 国内外のセミナー、ワークショップ等の開催情報が入手できます。また JRRN 主催行事に優先的に参加することが出来ます。
- (3) 必要に応じた国内外の河川再生事例等の情報収集の支援を受けられます。
- (4) JRRN を通じて、河川再生に関する技術情報やイベント開催案内等を国内外に発信できます。
- (5) 韓国、中国をはじめとする、ARRN 加盟国内の河川再生関連ネットワークと人的交流の橋渡しの支援を受けられます。

## ■ 会員登録方法

詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.a-r-r.net/jp/info/member.html>



2010年3月31日時点の個人会員構成  
(個人会員数：416名、団体会員数：18団体)

JRRN 会員特典一覧表(団体会員・個人会員)

JRRNが提供するサービス		JRRN 団体会員	JRRN 個人会員	非会員 (一般の方)
1	ホームページへのアクセス及び各記事へのコメント入力 <sup>※1</sup>	◎	◎	◎
2	ホームページ「イベント情報」欄でのイベント掲載 <sup>※2</sup>	◎	◎	◎
3	ニュースメール(週2回)の配信 <sup>※3</sup>	◎	◎	×
4	Newsletter(毎月)及び年次報告書(年1回)等の発刊案内メールの配信 <sup>※3</sup>	◎	◎	×
5	JRRN/ARRN主催行事の優先案内・優先参加 <sup>※4</sup>	◎	◎	×
6	国内外の河川再生関連情報・技術収集や専門家・組織紹介の支援 <sup>※5</sup>	◎	◎	×
7	ホームページ「最近の話題・ニュース」及びニュースメール「会員提供情報」欄で団体が関わる行事や出版、技術や製品等の案内の掲載 <sup>※6</sup>	◎	△ <sup>※7</sup>	×
8	ホームページ「会員登録」「人・組織のつながり」欄及び年次報告書内で団体名の掲載	◎	×	×
9	ARRN活動に関連する英語ニュース(ARRN Newsletter等)の不定期配信 <sup>※8</sup>	◎	×	×
10	JRRN及びARRNが保有する国内外専門家・団体等との連携等の支援 <sup>※9</sup>	◎	×	×

## 【発行・問合せ先】



日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)事務局  
財団法人リバーフロント整備センター 企画グループ内  
〒104-0033 東京都中央区新川1丁目17番24号 ロフテー中央ビル7階  
Tel: 03-6228-3860 Fax: 03-3523-0640 E-mail: [info@a-r-r.net](mailto:info@a-r-r.net) URL: <http://www.a-r-r.net/jp/>